			鎌ケ谷市政策評価表							
政策の名称						市民交流をつくります				
基本目標		1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして					市民生活部長			
重点政策該当有無					マネージ	ヤー氏名	宗川	洋一		
I 改革・改善内容(=政策をより良く実施するための方策)										
②①に 基づく	成と普及・啓発をはます。 ・市民が情報を得します。 ・コミュニティ活動作り、そして自治・自治会集会所	会の構築については図っていきます。る手段として必要となの場の提供、イベント会への加入を促すPR 所の整備助成、の新設整備なと	③改革·改 :善内容	きかい かまとり 動を追す	サービ くととも 、創意 めてい るため	えのさいた。 に、市 工夫を いく必要 の、今ま	らなる向 民・団体 、他分野 がありま で以上に	委託推進計画に基づ 上と経費の節減に努・関係機関との連携 野の施策と連携した活す。さらに、これらを にさないさせ		
取組み		<b>f動の場となる基盤が整いつつあります。</b>			を強力に推し進めていく必要があります。					
結果   パゴの場となる墨温が強い フラのりより。										
Ⅱ 以來	<u>07日时                                    </u>			<b>辛回/4.4.4</b>	11h +=+ 0	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	- U + .	1 + + =	エナツか フ トニノー ナ	
①目的	対象	すべての市民 意図(対象を どうするのか)				地域の絆により安心した生活を送れるようにします。				
②政策の概要		市民ひとりひとりがまちづくりの役割を認識して、地縁で結ばれたコミュニティづくりを進めていくとともに、地域情報化や国際化を推進し、男女が均等に社会の利益を享受できるような社会づくりを進め、すべての市民が地域の絆により安心した生活を送れるようにしていきます。								
	か析(状況変化 見込み・市民意	少子高齢化、人口減少という都市共通の課題の中で、都市化の進展によりコミュニティが希薄化 してきており、そのような中で情報発信や男女共同参画社会づくりの重要性が増しています。								
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況								
①平成24 施策の成	4~25年度の t果	各施策の成果は増加傾向で目標値に近づきつつ一定の成果はあるものの、過去一年間に地域 活動をした市民割合、男女が平等であると考える市民割合、姉妹都市ワカタネを知っている人の 割合など市民意識調査の結果は、目標値との開きがあり未達成の状況でした。								
②施策 成果指標			指標名称		単位	平成23 年度	平成24 年度	平成25 年度	目標値 (27年度)	
	1	自治会加入世		世帯	29,304		29,407	29,500		
	2	市民活動推進センター登録団体数			団体	120	120	120	90	
	3	過去1年間に地域活動をした市民割合(市民意識調査)			%		_	61.2	66.0	
	4	市ホームページ年間アクセス数 まなびいネット利用件数			件	508,656		409,161 30,264	410,000	
	5 6	まなびいイット利用性数  男女が平等であると考える市民割合			件 %	27,067	30,819	20.1	53,500 30,0	
	7	審議会等女性委員割合			% %	23.9	24.0	21.8	27.0	
	8	通訳ボランティア登録人数			70 J	34	20	26	28	
	9				<u>%</u>			45.1	60.0	
	10	対数型に フングイをなっている人の自己			/0			70.1	00.0	
	11									
	12									
	13									
	14									
③政策 <i>0</i> .	)事業費		平成25年度決算		り事業費	25年原	(要決算)	平成26		
事業費(千		123,109	114,472				1.1		181,409	
Ⅳ 評価	<ul><li>検討</li></ul>									
①課題(目的に対する現状など)		地域のコミュニティづくりを進めていくには、地域リーダーの育成と支援、活動場所の提供、さらに職員と市民への情報提供が重要になっています。さらに、男女共同参画社会づくりや国際化の促進は施策の必要性を行政からの情報発信により十分に理解していただく必要があります。								
②総合評価		4未達成 場合評価の 進、男女共			標では、地域コミュニティづくり、地域情報化の推 司参画の社会づくりの各施策でほとんど目標値を達 いことから、より一層、施策の充実が望まれます。					
Ⅴ 今後	の方向性									
①成果の方向性		↑向上	②コストの方向性 →維持							
③特に重点化する施策		施策1 個性豊かなコミュニティづくり								
④上記方向性の説明		市民が地域の絆で安心して暮らせるようなコミュニティづくりを効果的かつ効率的に進めていくには、引き続き地域に根づいたコミュニティ活動やNPOを育成・支援するとともに、その活動拠点の整備・充実を図っていく必要があります。								